

藤田市政 スタート



主な内容

- 藤田新市長就任のごあいさつ…………… ②③
- 令和初の成人式…………… ④
- 中学生保健体育授業…………… ⑤
- ふるさと加茂応援寄附金 返礼品募集 ⑦
- 加茂の風土記
「焼け跡の駅前・穀町を区画整理」 ⑧

令和元年5月10日 藤田明美新市長 加茂市役所へ初登庁



就任のごあいさつ

— 新しい時代の 新しい加茂市へ —

このたび多くの市民のみなさまのご支援を賜り、5月10日に加茂市長に就任いたしました藤田明美です。

令和という新しい時代が幕を明けました。

令和の英訳はbeautiful harmony（美しい調和）です。

私もこれまで続いた市政と新しい市政との調和をはかり、市民のみなさまが安心して暮らせるまちを作ってまいります。

今、加茂市は大変困難な状況にあります。加茂市には財政難、人口減少、少子高齢化に起因する様々な課題があります。

解決するには時間がかかるとしても、私はこれらの課題に正面から向き合い解決する道筋をつけることで加茂市の未来に責任を持つ覚悟でおります。

そのために人づくりに力を入れ、市民参加型の市政を推進いたします。



投票日翌日の市長選挙当選証書付与

また、就任後に従来 of 市政から方針転換したこととして、

- 市内中学校の部活動について、従来の方針を保留しました。
- 県央医師会応急診療所への救急搬送について、救急搬送を可能にしました。
- 土砂災害警戒区域、特別警戒区域の指定について、県が指定することに同意しました。
- 市長交際費の用途を見直しました。



5月10日（任期初日）市役所前で花束を手に、市民と握手をする藤田市長

市民のみなさまに開かれた透明性のある市政を



初登庁 1階ロビーにて



市長室で取材を受ける様子



職員への訓示

なお、大きな方針については、次号（6月号）に掲載予定の所信表明をぜひご覧ください。

今後は、広報かも、ホームページをさらに改良するなど発信力を高め、市民のみなさまに開かれた透明性のある市政を目指します。

まちで私を見かけた時はお気軽にお声がけくださるととても嬉しいです。私も積極的に市民のみなさまの中に出かけていきます。

頑張りたいと思っている人を後押しできるよう応援します。苦しい状況にいる人には寄り添い支えます。

正解があらかじめあって、それを探し求めるという時代は終わり、正解がない課題に対して自らの考えを持ちそれを相手に伝え、同時に相手の考えを聞き共に解決していく力がこれからの子供達にも大人達にも求められると私は考えています。

同じようにして、私は市民のみなさまと一緒に新しい加茂市を作っていくしたいと思います。

加茂市に今ある宝を活かして、活気あふれるまちにしていきましょう！

これからどうぞよろしくお願いいたします。



5月23日に行われた加茂市議会5月臨時会



副市長に五十嵐裕幸氏

五月二十三日に行われた加茂市議会5月臨時会で、副市長に五十嵐裕幸さんが選任されました。

五十嵐裕幸氏経歴
（加茂市総務課長
青山学院大学卒
61歳 天神林）

令和初の成人式

二百二十六人が出席

令和元年度の加茂市成人式が五月三日に文化会館で開催されました。

今年度の対象者は平成十年四月二日から十一年四月一日までに生

まれた人で市内に住民登録がある人と、市内の中学校を卒業した人になります。

男性百五十四人、女性百四十八人、合計三百二人の対象者うち、

当日は、二百二十六人が出席しました。

式典開始前には、文化会館前の広場で、久しぶりに会う同級生同士で写真を撮ったり、笑顔で語り合っていました。

式典では、開式のことばで殖粟教育長が「皆さんを元気づけてくれる日本一の加茂川のこいのぼりや、七谷は自然の宝である」などと語り「この素晴らしいふるさとを皆さんの力で大いに発展させて欲しい」と新成人に話されました。

続いて小池加茂市長が、お祝いのことばで、東洋哲学の易経から「天行は健なり、君子以て自強して息まず」と、論語の中から「仁以て己が任と為す」の言葉を贈り、さらに「少子化対策」を行うことや、皆さんの力で「平和憲法」を守ることが大切であると呼び掛けていました。

式典終了後、新成人は文化会館のステージ上で、中学校別に記念撮影をしました。その後は、産業センターへ移動し、成人式実行委員が企画した立食パーティーとビンゴ大会を行い、賑やかで楽しい時間を過ごしました。



式典で司会を担当する実行委員



20歳の誓いを述べる堀宣輝さん



加茂市教育委員と教育長



小池清彦加茂市長



懐かしい友達との再会 表情もにこやかに



産業センターで立食パーティー



各中学校ごとに記念撮影

中学生武道授業 演武見学会

秋に予定されている市内中学校
武道授業の種目選択のため、生徒
たちへの見学会が五月九日、文化
会館でありました。見学会は、大
ホールのステージで柔道、剣道、
合気道、空手道、柳生新陰流剣道、
なぎなたを指導する講師の方から、
市内全中学校の生徒に向けて授業
の内容説明や模範演武の披露など
がありました。

この見学会の後、生徒がそれぞ
れの種目を選択します。種目に合
わせた用具や道着は教育委員会に
あり、生徒はその用具を使って十
月に下条体育センターで武道授業
を受けます。
なお、中学三年生は武道に球技
(ハンドボール)を加えた七種目
から希望の種目を選択する予定で
す。



柔道



剣道



合気道



空手道



柳生新陰流剣道



なぎなた

加茂地区就職ガイダンス2020

加茂地区就職ガイダンス2020が、5月15日産業センターで行われ、加茂市内の企業を中心に45社が参加し、開催されました。会場は各社のブースでいっぱいになりました。

就職ガイダンスは、大学や短期大学、専門学校を卒業見込みの学生と卒業後三年以内の既卒者が対象で、加茂市・ハローワーク三

条・加茂地区雇用促進協議会が主催しました。

藤田市長は主催者あいさつで「学生の皆さんにとっては社会人になるためのスタートです。多くの企業が参加しているので積極的にブースへ行き、自分の良い点をPRしてください（参加企業の皆さんには）人手不足で大変ですが、学生が地元就職できるように企業の皆さんからもアピールしてほしい」と話しました。

続いて、ハローワーク三条の金子新一所長からは「四十五社が参

加しているので、学生の皆さんは企業からゆっくり話を聞くよい機会です。一社でも多くの企業から話を聞いてください（企業の皆さんには）御社の魅力を充分アピールし、人材確保につなげて欲しい」と述べました。

あいさつが終わると、学生たちは一社二十分をめどに、自分に適した企業を探すため、いくつもの企業ブースを訪れていました。

学生の中には、意中の企業と長い時間をかけて、話している人もいました。

なお、七月十六日には、来春高校を卒業する人を対象とした「加茂地区新規高卒求人説明会」を産業センターで開催する予定です。※市では新卒就職者向けに、貸付限度額五十万円、貸付利率年一・三〇％で融資する「ふるさと就職支援資金」があります。

詳しくは商工観光課（☎内線一三二）に問い合わせください。



藤田市長



金子所長



会場の産業センターに45社が参加した「加茂地区就職ガイダンス2020」

「ふるさと加茂応援寄附金」の返礼品を募集します

加茂市の魅力を全国にPRするとともに、地場産品等の販売促進や地域経済の活性化を図るため「ふるさと加茂応援寄附金」をいただいた寄附者への返礼品を募集します。

返礼品についての事業者向け説明会を開催しますので、返礼品の応募を検討している事業者の方は是非、ご参加くださるようお願いいたします。

なお、この説明会以後も通年で返礼品を募集しますので、詳しくは企画財政課までお問い合わせください。

募集要件等について

「ふるさと加茂応援寄附金返礼品募集要項」をご覧ください。

※募集要項は市ホームページおよび企画財政課に用意してあります。

説明会について

日時 6月28日（金）午後2時から ※受付開始は午後1時30分から

場所 加茂市役所3階301会議室

定員 60名 ※先着順。定員に達し次第締め切らせていただきます。

説明会への参加を希望する場合は募集要項にある『「ふるさと加茂応援寄附金」返礼品募集説明会参加申込書』に必要事項を記入の上、6月26日（水）までにFAXまたはメールによりお申し込みください。なお、会場の都合上、出席は1事業者につき2名までとさせていただきます。

※説明会参加申込書は市ホームページおよび企画財政課に用意してあります。

お問い合わせ先

企画財政課 ふるさと寄付金係 （内線311、312）

FAX 0256-53-2729

メール kikaku@city.kamo.niigata.jp

昭和十年五月

焼け跡の駅前・穀町を区画整理

昭和十年（一九三三）五月十二日の昼過ぎに outbreak した火事は、折からの東風にあおられ、本町から穀町・下川原と燃え広がり、加茂駅近くまでを焼き尽くした。全半焼約二百棟、罹災者百九十八世帯千十八名、被害総額二十三万円余に上った。加茂町では明治四十五年（一九一二）、五番町の大火以降、最大の火事である（『加茂市史』資料編3）。

区画整理方式による復興計画は、区域内の土地所有者が組合をつくり、共同で土地を出し合い、道路など公共用地を確保する新しい街づくりの方策として注目されており、新聞の見出しを飾った（「新潟新聞」昭和10・5・14）。

加茂町の議会は、大火翌日の午後には避難所にあてられていた加茂小学校北校舎で緊急町会を開き、町当局から被害状況と炊き出しなどの被災者救護の報告を受けるとともに、復興に向けての対策を協議した。これによれば、住宅再建と生業資金の低利貸付をする一方で、焼失区域内の二本の市道と表通りの県道の拡幅を決議し、都市計画による区

画整理方式による復興計画は、区域内の土地所有者が組合をつくり、共同で土地を出し合い、道路など公共用地を確保する新しい街づくりの方策として注目されており、新聞の見出しを飾った（「新潟新聞」昭和10・5・14）。大火から二ヶ月後の七月二十八日付で焼失区域の地主二十八名が加茂土地区画整理組合の設立を国に申請して認可を得た。八月に加茂町役場で創立総会を開き、役員を決定した。組合長は町長の丘山堅で、副組合長が石田友一、評議員に吉田弘策・市川辰雄・石附安が選ばれた（『加茂市史』資料編3）。

加茂の風土記

町が大蔵省からの借り入れでまか

町が大蔵省からの借り入れでまか

焼失した区域の
区画を整理
新しき街を建設

米の母
栄養剤

加茂出身兵へ
蟻宅を許可

同行不明品
廿九件に上る

同情集まる
相次いで金回借附

期待への街づくりによる区画整理が込められた新聞見出し（昭和10年5月14日付「新潟新聞」）

ない、土地所有者の負担軽減にあてられた。大火の一年後、昭和十一年一月には仮換地が実施されて組合員の地主には新配分の土地明細書が渡された。それによると二三・五%の減歩率で換地清算金が賦課された。

この地区は戦後の昭和四十年代になって駅前区画整理事業として、再び組合方式による街づくりに取り組むことになる。

（長谷川昭一）

第39回全日本学童軟式野球大会

中越大会予選会結果

期日	四月二十九日
会場	七谷野球場
優勝	田上ベースボールクラブ
準優勝	石川ビクトリーズ

第71回加茂市少年野球大会結果

期日	四月二十九日
会場	羽生田野球場
優勝	葵中学校
準優勝	加茂・七谷中学校



人口のうごき

5月1日現在	
世帯	10,236 (+ 5)
人口	26,987 (-17)
男	13,118 (- 5)
女	13,869 (-12)
()内は前月比	
(4月異動分)	
出生	10 (男 4 女 6)
死亡	44 (男20 女24)
転出	60
転入	77